

お取引先さま各位

カカオ・チョコレート週刊ニュース 121号

2014/12/1 発行
株式会社 立花商店
西岡 あずさ

お世話になります。カカオ・チョコレート関連のニュースを前週の出来毎の中から注目ニュースを5本前後ピックアップして、発行しています。カカオやチョコレート中心に取り扱っております弊社と致しましては、広く関係者の方々に読んでいただけるように、少しずつでも有益な情報をお届けできればと考えております。宜しくお願い致します。

1、市況の動き

① 最高：3月 LDN 市場£1,908(11/27)/3月 NY 市場\$2,871 (11/26) 先週比 **LDN +£29/NY +\$36**
② 最低：3月 LDN 市場£1,873/3月 NY 市場\$2,824 (11/25) 先週比 **LDN -£2/NY +\$15**
週内価格差額 (①-②)：LDN 市場£35 (傾向↑) / NY 市場\$47 (傾向↑)
週内建玉推移：LDN 市場 242,198 枚(11/21 終了時)⇒237,065 枚 (11/27 終了時) **-5,133 枚**
NY 市場 174,679 枚(11/21 終了時) ⇒177,004 枚 (11/27 終了時) **2,325 枚**

	2014/11/24(月)		2014/11/25(火)		2014/11/26(水)		2014/11/27(木)		2014/11/28(金)	
	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY	LDN	NY
14-Dec	1916	2911	1895	2863	1929	2908	1944	休場	1924	2880
15-Mar	1893	2866	1873	2824	1896	2871	1908	休場	1896	2843
15-May	1889	2863	1869	2824	1891	2869	1900	休場	1887	2841

2、カカオ豆価格、気候変動により上昇続く(11/20)

2050年には、チョコレートバーやコーヒー、チョコレートアイスに相当な金額を支払わなければならないかもしれない。チョコレートは人工的な味として大衆に受け継がれていくかもしれないが、私たちの孫世代（もしくは子ども世代にできえ）には、ソファに座ってチョコレートアイスを食べることがどれほど素晴らしい時間だったかを話すことになるだろう。これから数十年にかけて、気候変動によりカカオ豆の収穫量が減少し、価格が上昇するだろう。

地球温暖化と気候変動は経済のみに留まらず、人々が当然と捉えている衣食住にも影響を与えます。Global Post の Sara Yasin 氏は、気候変動による異常気象が、向こう数十年で日々の生活の弱点を突いて、私たちの生活スタイルを変えてしまうと発表した。世界最大のチョコレートメーカーであるバリー・カレポー・グループは、2020年にはカカオ不足の可能性があり、これにより価格高騰が起こることが考えられるとしている。

Yasin 氏はこの問題についての統計的根拠を示している。チョコレートの消費量が製造量を上回っており、この差が今後さらに広まる一方であるというレポートである。この需要はチョコレート価格の高騰を招いているが、反対論者たちは可処分所得をもつ人口が増えていることを指摘している。

しかし、ガーナとコートジの生産量の低下を検知している研究報告がある。この二か国は世界のカカオ豆供給量の 70%を担い、西アフリカでは重要な収入源のひとつである。国際熱帯農業センター (CIAT) が 2011 年に発表した論文では、「カカオ豆の栽培に適した状況を維持できる地域もあるが、これは農家が今後経験していく新たな環境に適応していくことができれば、という話である。また、カカオ豆の生産への適性が高まる地域もある。気候変動は悪いニュースだけではなく、潜在的な可能性ももたらす。変化に備え、適応していく方法を知る者が勝ち残るだろう」とカカオ豆の先行きの不安が報告されている。一部の地域において華氏 3.6 度 (摂氏 15 度) の気温上昇に対応する準備がない者は、彼らの作物に十分な水を与えることもできなくなるかもしれない。

論文の筆頭著者である Peter Laderach 氏は、農家の生計にとってカカオ豆がいかに重要かを Scientific American で説明した。「多くの農家は ATM マシンのようにカカオの木を活用している。彼らはカカオポッドを収穫し、すみやかに販売して学費や医療費に充てるための現金を手に入れる。カカオの木は農村生活では非常に重要な役割を果たしている。」彼らはカカオ豆の生産力が低下した瞬間に他の作物に移行する可能性もある。

ただしこれは世界から完全にカカオ豆は無くなるということではない。今後は今まで以上にコーヒーやチョコレートに多くのお金を支払うことに慣れなくてはならず、振り返ってみればスターバックスコーヒーの価格が実際にはリーズナブルなものであったと思うかもしれない。

3、コートジ：日照と降雨がメインクロップの生育促進(11/24)

先週のコートジの主なカカオ豆生産地域における降雨と日照は、メインクロップの生育を促進したが、ハルマッタンの接近により不足するかもしれない、と農家やアナリストらは語った。

ココアベルトの中心地に位置する Soubre 地区西部の降雨量は、先々週が 34 ミリであったのに対し先週は 9 ミリ。「少量の降雨はあった。雨が木々の活力を維持させ、過酷な暑さの影響を受けていない」と Soubre 地区郊外の農家 Salam Kone 氏。「カカオポッドを収穫する貨物自動車はたくさんある。収穫量は多く品質も良い見込みで、気候もカカオポッドの保存に適している」と続けた。

コートジでの 2014/2015 期のメインクロップの収穫は 10 月 1 日から始まり、乾季は通常 11 月中旬から 3 月。農家は、土壌の良好な湿気による 1 月末までの良質なカカオ豆の豊作を期待している。

しかしながら 12 月から 3 月にかけてサハラ砂漠から吹くハルマッタンの影響で、作物を刈り取られてしまう可能性がある。「ハルマタンは来週から北部で感じられるようになり、次第に南部まで広がるだろう」とアビジャンに拠点をおく気象学者は語る。



農家は Aboisso、Agboville、Divo、Tiassale の南部、Yamoussoukro の中部、San Pedro のや Sassandra の沿岸部、Duekoue、Gagnoa の西部で良好な環境を確認している。

国内の 25% の生産量を誇っている Daloa 地区の中西部では降雨が無いと農家から報告されている。彼らはブラックポッド病により収穫量が減退したのちの、数週間後の豊作を期待していたという。「生産量が増加傾向にある。12 月には大量の収穫がある予定である」と Daloa 地区の農家 Attoungbr Kouame 氏。

良質な豆で知られる Abengourou 地区の東部では、日光と大量の降雨が報告されている。「雨はあったが、もしハルマタンが早々に到来したら、強風で 1 月以降は十分な収穫が出来ないかもしれない」とガーナと国境を接する Nibale 地区の農家 N'Dri Kouao 氏は語った。

4、アジア：カカオ磨砕業者、キャパシティオーバーによる廃業で価格下落(11/24)

アジアのココアバターレシオの 16 ヶ月連続の下落、過剰在庫と需要鈍化が 2015 年まで継続するとみられている。これにより利益が減少している小規模磨砕業者は磨砕量を減らしたり、廃業せざるを得なくなっていると業者は話す。

バターレシオは需要の指標となり、ロンドン先物市場では 2.1-2.15 と見積もられていた。これは 2013 年 7 月ぶりの安値にも関わらず、おおよそ 2 週間変動していない。

「業界の多くのカカオのベテランたちは、ここまで悪くなったことはないと話している。多くの小規模磨砕業者が廃業し、完全に生産をやめてしまった」と業者関係者。年間収穫高が 30,000-50,000 トンであることにも言及した。

「購買者は価格の下落を待ち望んでいるが、売り手は利益が無くなるため彼らの希望に応えることはできない。様子見状態で、抜け出せずにいる。」

10 月 11 月の恒例のクリスマス需要が今年は発生しなかった、と業界関係者。これに加え、最終消費者とトレーダーの短期的な購買による落ち着いた需要となっている。「何もない。通常 11 月はバレンタイン・デーのために人々はとても忙しくしていたのに、今年は異様なくらい緩やかだ。」

トレーダーは、過剰在庫と 2014 年末まで継続されるとみられている直近 3 ヶ月の磨砕量の低下を指摘

し、カカオ豆の価格が下落するかパウダーかバターの価格が早急に改善しない限りは多くの磨砕業者がこれ以上は利益のために稼働できない、と話した。「短期的には、過剰な市場在庫を消化するために大幅に磨砕数量がスピードダウンするだろう」と加えた。いくつかの購買者は先のポジションを掴んでいたため、\$7000/トン以下に安定している。

パウダーとバターの過剰在庫は 2015 年の第一四半期まで市場で消化しきれないだろう、とトレーダー。磨砕量の縮小はカカオ価格の下落を誘引する。

ココアパウダーの価格はトンあたり\$1800-\$1900 で、2 週間前の\$1750-\$1850 からやや上昇している。しかしながら短期的な改善の見込みはこれ以上ない。

「パウダーの価格上昇のチャンスは未だ小さく、現在の唯一の希望は価格の下落が終了するか、最終消費者が購買を始めるかである。」

5、チョコレート不足は味の妥協を招く？(11/25)

新しい世界のチョコレート市場は、遅成長種カカオから速生育種との混合種に置き換えられていくかもしれないと、Latrobe chocolatier の Igor Van Gerwen 氏。

Van Gerwen 氏は、マーズ社とバリーカレボー社による昨今の世界のカカオ供給が干上がっているという報告に対し、以下の様に答えている。Van Gerwen 氏は、ここ数年このような不安が業界内で蔓延しているが、伝統的にチョコレート文化の無かった中国市場では製品の需要が高まっていると話す。「中国市場は西洋の体験を心待ちにしている。今まで文化が無かったところの市場が開かれてきている」と話す。「中国には世界的な需要を高める潜在的な消費がある。多くの新たな需要が掘り起こされるだろう」と続けた。

気がかりは、もし遅成長種カカオが速生育種との混合種のために駆逐されれば、チョコレートの品質が落ちてしまうということである。

「コストの上昇などへは対処することが出来ると思う。私にとって心配なことは、混合種のために遅成長種が駆逐されれば、品質に影響が及ぶことである」と Van Gerwen 氏。彼曰く、もしそのようなことが起これば、世界のチョコレートは味に乏しく、すべて同じ様な味になってしまうという。彼の様なローカルビジネスへの影響は莫大である。「私の本当の心配は、すべてのカカオの木が混合種に替えられ、すべてのチョコレートが同じ味になってしまうことだ」と話す。

Van Gerwen 氏はそのような場合に備え、希少な Fortunato ブランドを生育する地元のペルー農家との関係のような新たなコネクションを築きたいという。

6、カメルーン：8月-10月カカオ輸出量下落(11/26)

カメルーンの大部分におけるカカオ豆の出荷を妨げる粗悪な道路事情が、10月の輸出減の原因となったと Dow Jones Newswires Wednesday は示した。

国際カカオ・コーヒー協会によると、8月-10月で 44,085 トンのカカオ豆が輸出された。これは昨シーズンの 48,171 トンから減少している。

シーズン3ヶ月目である10月の段階で 22,777 トンのカカオ豆が輸出されたが、ここでも昨シーズンの 28,316 トンより減少している。カメルーンのカカオシーズンは公式には8月から翌年の7月までとされている。2013/2014 期では、昨シーズンの 201,563 トンから低下し、158,311 トンのカカオ豆を輸出。2013/2014 期の収穫量は 2012/2013 期の 228,911 トンから 209,905 トンに減少している。

《お問い合わせ先、配信希望または、停止のご連絡先》

株式会社 立花商店 東京支店 生田

TEL03-5785-3545 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp